



賀茂自治公民館



発行: 賀茂地区公民館 電話: 43-1875 E-mail: kamo@town.misasa.tottori.jp

賀茂地域協議会が発足!!!

平成19年1月29日、牧ふるさと交流館において、吉田町長をはじめ、来賓の方々にご列席を賜り、設立総会が盛大に開催されました。新たな賀茂地域の自治活動がスタートします。

賀茂地域協議会設立趣意書(全文)

昭和28年に三朝町が誕生し、その後、高度経済成長の波に乗り、道路や上下水道など生活基盤の整備、圃場などの農業基盤の整備、教育や文化、スポーツ施設など環境整備が着実に進められてきました。

しかし、バブル崩壊以降、国や地方の財政状況が厳しくなり、多様化、膨大化する住民ニーズに十分応えることが難しくなってきました。加えて、少子高齢化、核家族化、人口・世帯の減少化が進行し、また、地域社会への帰属意識が希薄になり、無関心層の増加、それに伴い、地域活力が



新しく選出された役員の方々

低下し、地域社会の崩壊が危惧される状況になってきています。賀茂地域の現状としては、いろいろな組織が錯綜し形骸化してきています。

いま、地域社会に求められているのは、地域の自然、歴史、文化等の資源を活かして愛着をもって暮らしていけるような地域社会を再構築し、元気で笑顔のあふれる日常生活ができるようにすることだと考えます。そのためには、「自分たちのムラは、自分たちで守り、育てていかなければ明日の地域社会はない。」という考えを基本に、住民自治の単位である集落を基礎として、地域住民が自由に活発な意見を交わし合える地域組織の設立が急務だと考えました。そのような考えから、平成17年4月賀茂地区公民館で、新しい地域組織づくりの検討をスタートさせました。

国では、三位一体改革、地方分権が推進される中、三朝町も新たな行政システムの構築に向け、「三朝町の自立に向けた改革のための行動計画」(平成17年4月11日策定)が公表されました。さらに「三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例」(平成18年4月1日施行)が制定され、町内を6地域に分け、自主的な地域づくりを促進する地域協議会を設置することが提起されました。これに対し、地域内には「行政がやるべきことを地域におしつけるだけではないか」「地域を行政が思い通りに動かす手段ではないのか」「市町村合併の時と同じで、まったく説明がなされていないのでは」という疑問の声も多く出されました。

しかしながら、賀茂地域では、この機を好機と前向きに捉え、各団体の代表による発起人会を結成し、地域自治、住民自治とはどういうことか、集落の運営はどうあるべきか、地域組織はどうあるべきか等々、鋭意検討し、本日を迎えました。

自主自立の精神をもって、「知恵を出し合い、汗をかき、時には身銭を切っても」を合い言葉に、住民自治意識の高揚と地域の総合力を高めながら、いきいきとした暮らしが実感できる地域づくりのため、ここに「賀茂地域協議会」を設立するものであります。

平成19年1月29日

賀茂地域協議会発起人会

賀茂公民館の 使用について

賀茂公民館の使用は、電話等で地域振興課(43-3515)に必ず申し込み、鍵は当日、役場宿直室で借りてください。使用後は、きちんと片付け、ゴミの持ち帰りにもご協力ください。鍵の返却は役場宿直室へ。

賀茂地域協議会
役員紹介

平井会長 就任のあいさつ



平井孝也さん
(本泉)

賀茂地域協議会が平成19年1月29日設立されました。私、賀茂地域協議会長という大役を仰せつかり戸惑っていますが、「知恵を出し合い、汗をかき、時には身銭を切っても」を合言葉に、元気で笑顔のあふれる暮らしができる地域をつくるために微力を尽くす所存です。

そのためには、どんなことから始めなければならないのか、現在まだ見当が付きませんが、賀茂地域住民の皆さんのお知恵をお借りしながら取り組みを進めていきたいと考えております。

ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

執行理事



岡本岩夫さん
(鎌田)
副会長



山崎一彰さん
(本泉)
副会長



米原 幸さん
(今泉)
自治交流部会長



平井満博さん
(本泉)
経済振興部会長



米原健二さん
(吉尾)
生活環境部会長



米原和喜さん
(今泉)
事務局長

理事 すべての集落の区長にお願いしました。

監査員 山口清晴(若宮) 井之上 悟(恩地)

賀茂の歴史を覗く!!!



神社紹介第5弾、今まで「北野神社」(吉尾)、「大皇神社」(助谷)、「上野神社」(大柿)、「姫宮神社」(湯谷)、を覗いてきました。今回は「五郷神社」(牧)を、次号では「賀茂神社」(森)を訪ねる予定です。

「鳥取県神社誌」(昭和9年出版)によると、広田大明神と呼んでいたが、明治維新の際、牧神社と改称し、その後大正元年に湯谷、赤松、大柿、恩地、そして牧の五つの神社を合併して、五郷神社と改称されたそうです。

祭神は天照大御神。天保時代の記録によると、本社に広田大明神、末社に子守大明神、三宝荒神、幸神、大歳荒神が祀られているとあります。

広田大明神とは撞賢木巖之御魂天疎向津媛命(ツキサキツミタマサカムカヒノミコト)のことで、大御神の荒魂のことだそうですので、結局、天照大御神が祀られているということになるのでしょうか。



また、広田大明神は30日間に日替わりで国や法華経を守る30の神様とされ、法華経や灌頂経の説にもとづいて、最澄(伝教大師)が祀ったのが始まりといわれているそうです。

三十日秘仏でいうと二十三日仏の勢至菩薩です。文殊菩薩に並ぶ智慧の仏様で、観音様が慈悲をもって救うのに対し、勢至菩薩は智慧をもって救うといわれているようです。

賀茂自治公民館最後のイベント
賀茂地区ソフトバレーボール大会

とき 平成19年2月18日(日) 8:30

① 8:50 開会式 ② 9:00 試合開始

ところ 三朝町総合スポーツセンター

試合 5人以下制とし、男・女別で予選リーグ戦、決勝トーナメント戦で行い、ラリーポイント制で1セット15点3セットマッチ

申込先 2月15日までに地域振興課 西田 (43-3515 FAX43-0647)へチーム名、チーム数をお知らせください。

賀茂スポレクラブからお知らせ

毎年恒例のスキースノーボード教室を開催します。恩原高原でスキー・スノーボードをいっしょにしませんか!!

とき 平成19年2月18日(日) 7:30 集合

ところ 三朝町総合文化ホール集合

参加費 スキー持参の方 1,000円

※ 詳細は、賀茂スポレクラブ栗原由江さんにお問合せください。

賀茂自治公民館の解散について

賀茂地域協議会が発足し、賀茂自治公民館の活動は地域協議会へ引き継がれることとなります。自治交流部会が担当部会です。

なお、賀茂自治公民館の会計を閉め、監査が済み次第、賀茂自治公民館の解散総会を行いますので、関係の方はよろしくお願いいたします。